

眼形成・眼窩・涙道外科を受診している患者さんへ

当科では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	下斜筋とその周囲組織に関する解剖研究：下斜筋は閉鎖型眼窩骨折において嵌頓しうるか否か
研究機関名	愛知医科大学病院
研究機関の長	病院長 道勇 学
担当科等	眼形成・眼窩・涙道外科
研究責任者	准教授 高橋靖弘
試料・情報を利用する学外の研究機関名・研究責任者名	非該当
研究の意義・目的	眼窩閉鎖型骨折は骨折部に眼窩組織が嵌頓する疾患です。眼窩骨折の大部分は眼窩下壁と内壁に起こるため、その近傍に存在する下直筋、内直筋、眼窩脂肪、及び動眼神経下斜筋枝が嵌頓することがあります。一方、眼窩下壁近傍に位置する下斜筋はほとんど嵌頓しません。本研究は、CT画像を用いて下斜筋とその周囲組織の解剖を研究し、何故下斜筋が眼窩閉鎖型骨折においてほとんど嵌頓しないのかを調べることを目的としています。
対象となる患者さん	2020年1月から2021年5月までに眼窩骨折整復術を受けた患者さん。
研究の方法	CT画像を用いて、下斜筋、下直筋、眼窩下縁、眼窩下溝のそれぞれの位置関係、眼窩下壁の厚み、眼球突出度、及び眼窩長を測定します。
研究期間	倫理審査承認日 ~ 2021年10月31日
研究に用いる試料・情報	情報：年齢、性別、CT画像、等
外部への試料・情報の提供	なし
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2021年8月31日までに下記問い合わせ先まで申し出てください。
問い合わせ先	愛知医科大学 眼形成・眼窩・涙道外科 担当者：准教授 高橋靖弘 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1

	電話 0561-62-3311 (内線 12314)
--	------------------------------